知ってる？ 但馬の川のこと

兵庫県では「治水・利水」「生態系」「水文化・景観」「親水」を4つの柱として、人と自然が共生する川づくりをすすめています。

ひょうご・人と自然の川づくり基本理念、基本方針

但馬と土木の神様　治水・利水

但馬には、土木に関して神様と呼ばれる人が3人います。

但馬開発の祖神 アメノヒボコ

アメノヒボコは、日本書紀や古事記、播磨風土記に登場する日本神話の神様で、朝鮮半島の新羅の王子だったそうです。

古代の但馬地域は、日本海の「海の道」を通じて大陸との交流が盛んであり、アメノヒボコも但馬に製鉄技術を伝え、大規模な治水工事を行ったとされています。出石神社では、アメノヒボコを「国づくりの神様」として祀っています。

▲アメノヒボコを祀る出石神社

◀沖野忠雄の顕彰碑（出石神社）

治水の神様 沖野忠雄

沖野忠雄は、江戸時代の最後（1854年）に豊岡市大磯で生まれました。東京大学へ進学後、フランスへ留学して土木建築を学びました。帰国後、内務省（現・国土交通省）で土木技師として、治水工事・港湾の開拓に尽力しました。特に、大阪港事業と淀川の改修工事は有名で、「治水の神様」と呼ばれています。

円山川第一期改修工事のときは退職していましたが、重要なアドバイスをしました。出石神社の境内には、沖野忠雄の顕彰碑が立っています。

砂防の神様 赤木正雄

赤木正雄は、豊岡市引野で生まれ、東京大学を卒業してから内務省（現・国土交通省）で働きました。川を安全にするためには、山をなおさなくてはならないと、全国で砂防工事を指導し、「砂防の神様」と呼ばれています。

生家の一部は、「砂防の父赤木正雄展示館」として公開されています。

▲赤木正雄の生家

平成16年台風第23号 水害からの復興　治水・利水

平成16年10月の台風第23号により、最大24時間雨量が250mmを超え、1時間雨量30～50mmの激しい雨が降りました。

但馬地域では大規模な河川氾濫等が発生し、死者・行方不明者9人、浸水区域4,100ha、床上浸水667世帯、床下浸水4,095世帯に上る大きな被害を受け、ふたたび災害を受けることを防ぐため、災害からの復旧・復興工事を実施しました。

円山川水系では、災害からの復旧・復興工事にあわせて、取水堰（しゅすいぜき）などに魚道を設置し生き物の移動範囲を広げたり、水際などに湿地を創出することによって、かつての円山川の多様な自然環境を取り戻すための取組を行いました。

▲円山川破堤のようす

▲出石川破堤のようす

建屋川、出石川等　オオサンショウウオの保全　生態系

オオサンショウウオは、世界最大の両生類として日本が誇る貴重な生き物です。山地の渓流に生息しますが、夜行性で、夜になると川底で魚やカエル等を食べます。

建屋川で平成2年台風19号災害からの復旧・復興工事（平成2年～平成7年）を実施する際、工事箇所にオオサンショウウオが確認されました。貴重なオオサンショウウオを保全するために、人工の巣穴や隠れ場所などをつくる工夫を行いました。

また、出石川では、平成16年台風23号災害の際に、413頭ものオオサンショウウオが見つかりました。出石川の上流では、以前から生息情報がありましたが、平成16年（2004年）には標高の低いところで見つかっており、その多くは台風の大水で流されてきたと考えられています。災害からの復旧・復興工事を行う際には、一時的に保護され、平成20年（2008年）の工事完了時に、地元の子どもたちの手によって元の場所に放流されました。

▲特別天然記念物オオサンショウウオ

▲巣穴ブロック（出石川）

円山川　コウノトリのいる円山川に　生態系

ひょうごの川・自然環境調査

円山川下流域に位置し、「六方田んぼ」を有する豊岡盆地では、コウノトリの野生復帰事業を実施しており、平成24年にラムサール条約湿地に登録されたことから、地域一帯で自然環境保護の機運が高まっています。

兵庫県は、円山川支川の9河川において自然再生の取組を実施し、コウノトリをはじめとする多様な生物が生息しやすい環境をつくっています。

河岸・河床の多自然化（石積による多自然護岸など）を進める他、河川縦断方向の連続性確保（魚道等の設置）、河川と水路の連続性確保、湿地の再生などに取り組んでいます。

▲六方川

▲石積による多自然護岸

谷山川　ミズアオイの復活　生態系

谷山川は、出石城下町を守る外堀の歴史をもち、河川沿いには歴史的文化財が点在しています。平成7年の工事中に、以前生息していた水生植物「ミズアオイ」が確認されたことから、地元との協議の上でミズアオイに適した生育環境の整備が行われました。今でも、地域住民による保全活動が続いています。

▲ミズアオイ

▲谷山川とミズアオイ

田君川　バイカモの保全　生態系

▲バイカモ（田君川）

新温泉町の田君川では　5月から7月にかけて白く清らかな花をつけるバイカモ（梅花藻）が水面いっぱいに咲き誇ります。バイカモは水中生の多年草で「梅花藻（バイカモ）」の名の通り、梅の花に似た直径1～2cmの白い花を咲かせます。水温15度以下のきれいな水のところにしか自生しないので、清流の目安とされています。中でも、田君川のように、海岸から約4kmほどしか離れておらず、標高も十数mという平坦部に大群落が見られるのは、全国的にも珍しい光景です。

田君川では、かつて約2kmに渡り所々にバイカモが群生していましたが、「ヨシ」の繁殖により一時は全滅状況となりました。

平成12年（2000年）の河床の整備をきっかけに、地元住民によるバイカモの移植や周辺の草刈り等の保全活動が始まり、今では観光客が訪れるようになりました。

▲保全活動

味原川　歴史と懐かしさを感じる味原小径　水文化・景観

マップ番号 B-1

味原小径は、新温泉町浜坂の市街地を流れる味原川の下流、川沿いに整備された約680mの散歩道です。古い石壁等が見られ、歴史と懐かしさを感じる小径は、地域の人々や観光に訪れた人たちに親しまれています。

そのほかにも、洗い場跡や揚げ橋、船着き場などが随所に残り、昔の生活を偲ぶことができます。

▲洗い場跡

▲揚げ橋

大屋川　約1800年前から始まるお走り祭り　水文化・景観

毎年4月中旬の土曜日、日曜日に行われる養父神社の祭礼です。「ハットウヨゴザルカ」というかけ声をひびかせながら、約20kmも離れた斎神社（いつき）に2日がかりでお参りします。

雪解けで増水した大屋川の激流を首までつかりながら、約150kgもある神輿を渡す「川渡御（かわとぎょ）」は圧巻です。

神功（じんぐう）皇后の代、約1800年前より行われており、養父市の無形民俗文化財に指定されています。

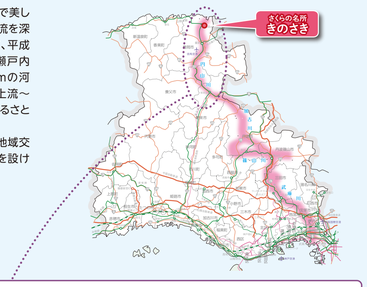
神功皇后が朝鮮半島から戻ってきた際に「くずの葉餅」を養父神社に献上され、その一部を斎神社にお供えされたという故事にちなんでいると言われています。

かけ声の「ハットウヨゴザルカ」は、お祝いのお餅の分ける量が「八斗（八はめでたい数）」でよろしいか、という意味です。

ふるさと桜づつみ回廊　親水

川を身近な自然として愛し、安全で美しい県土を創出するとともに、地域交流を深めてもらいたいという願いを込めて、平成3年度から平成12年度にかけて、瀬戸内海から日本海を結ぶ延長約170kmの河川沿い（武庫川～篠山川～加古川上流～円山川）を約5万本の桜でつなぐ「ふるさと桜づつみ回廊」を整備しました。

但馬には、地域住民の憩いの場、地域交流の場として、桜の名所「きのささ」を設けています。



▲大谷川（豊岡市 城崎温泉）のさくら

▲与布土川（朝来市和田山町立原）のさくら並木

▲柴川（朝来市和田山町上早田）のさくら並木

生活に密着している川～洗イト～　親水

但馬では、集落内を通る水路や川に設けられた洗い場があり、「洗イト」や「イト」と呼ばれています。家の裏口から川へ降りる階段をつくり、洗顔や米研ぎ、洗濯などを行っていました。円山川流域では、上流から下流まで広くこの習慣を見ることができます。洗イトは生活の中に息づいているのです。

▲洗イト

ホタルの名所　親水

▲奥米地のほたるの里

奥米地のほたるの里（養父市）

養父市奥米地（おくめじ）の「ほたるの里」は、「ふるさといきものの里」に指定されています。また、兵庫県ゲンジボタル保護区にも指定されています。ほたるの鑑賞期間中（6月中）は、蛍祭りが開催され、蛍にまつわる各種イベントが催されています。

マップ番号 E-3

さのう高原のホタル（朝来市）

朝来市佐嚢（さのう）を流れる神子畑（みこばた）川や佐中川にはゲンジボタルが多く生息し、神子畑川の川筋では、毎年6月中旬には「さのうホタルまつり」が開かれています。

マップ番号 D-4

大木でできた「おりゅう灯籠」

谷山川に架かる出石大橋の東詰めに「おりゅう灯籠」と親しまれている高灯籠があります。昔、このあたりには船着場があり、目印として灯明台がありました。言い伝えでは、明治2年（1869年）に起きた大洪水で上流から流れてきた大木を引き上げて、現在のような灯籠と台を作ったとされています。

▲おりゅう灯籠（豊岡市）

近代化遺産として親しまれる橋梁

神子畑鋳鉄橋

マップ番号 D-4

神子畑鉱山と明延鉱山の開発にあたり、明治18年（1885年）に鉱石を運ぶために朝来町の神子畑川にかけられた鋳鉄橋です。現在日本にある鉄橋の中では3番目、鋳鉄橋の中では日本最古のものであり、国指定の重要有形文化財となっています。

▲神子畑鋳鉄橋（朝来市）

▲羽渕鋳鉄橋（朝来市）

羽渕鋳鉄橋

マップ番号 E-5

神子畑鋳鉄橋と同じく、神子畑鉱山から生野精錬所へ鉄鉱石を搬送するために、田路川が円山川に合流する付近に架けられました。現在は、国道312号沿いの羽渕にある公園内に移設されています。神子畑鋳鉄橋と合わせて、日本に2つしか残っていない鋳鉄橋のひとつであり、県の重要有形文化財に指定されています。

城崎の弓形橋群

マップ番号 E-1

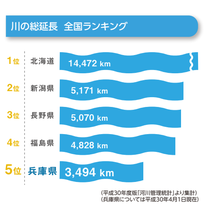
弓形橋群は、昭和元年（1926年）に建設されました。大谿（おおたに）川と道路の段差は数10cmしかなかったため、岸に玄武岩を積み上げて高さ70～80cmの側壁がつくられました。そのため、橋も側壁の高さ分だけ高くする必要が生じ、弓形の橋となったのです。

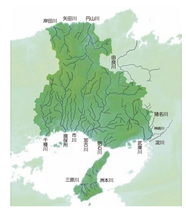
▲弓形橋群（豊岡市）

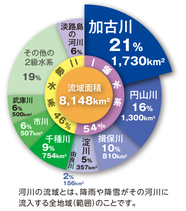
兵庫県の川

日本の川と兵庫県の川

日本には、2,820水系、約21,000の河川があります。そのうち、兵庫県には97水系、685の河川があります。総延長は、全国5位の3,494km にのぼります。







兵庫県の川の特徴

兵庫県は、約8割が山地で、中央部からやや北よりを中国山地が東西に走り、県土を南北に二分しています。そのため、日本海へ注ぐ川と瀬戸内海へ注ぐ川があります。一方、明石海峡を隔てた淡路島では、南北に山地が走り、東西方向に川が流れています。

日本海側と瀬戸内海側では気候が異なり、広い県土にはいろいろな地形が広がっていて、川の表情もさまざまです。

ダムカードを集めてみよう

ダムのことをより知っていただくためにダムカードを配布しています。ダムカードには、ダムの大きさ、高さに加え、豆知識や、工事の際に工夫したことなどの情報を記載しています。

配布場所は、市役所、県土木事務所や、現地のダム管理所などです。

詳しくは県HPへ

https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks12/wd16_000000067.html

※兵庫県県土整備部管理ダムのみ　QR コードはこちら→

川に入ってみよう

生きものを探すポイント

	探す場所	見つけるコツ
魚類	● 水際の植物の間 ● 石と石の間や岩陰	● 水中メガネや箱メガネで川の中を見る ● タモ網で探す
底生動物	● 小石の裏やすき間 ● 水際の植物の間や砂の中や落葉	● 箱メガネで川の中を見る ● 網目の小さいタモ網で探す

※無断で魚をとることが禁止されている川もあります

準備するもの

気をつけること

- 川に一人で行ってはいけません。
- 行き先を家族に伝えておきましょう。
- 川の水量や水深に注意しましょう。増水していれば中止しましょう。
- 暑い日には帽子を被り、日射病に注意しましょう。また、水分補給をしましょう。
- 深いところや、流れの速いところに入ってはいけません。
- 河底や石の上は滑りやすいので気をつけましょう。
- 毒のある動植物に注意しましょう。
- ダムの放流の注意サイレンが聞こえたらすぐに高いところへ避難しましょう。
- 夕立が降ったら中止しましょう。急に増水することがあり、危険です。
- 水面が平らでも川底が急に深くなっている場所があるので注意しましょう。

川を利用するときのマナーとアドプト

ごみは持ち帰り、いつまでもきれいな川を保つことができるようにしましょう。

兵庫県では、県が管理する河川等において、みなさんがボランティア等（清掃美化活動）を行う際に、県・市町が用具の提供等を行い支援する制度「ひょうごアドプト」があります。

さまざまな人の活動によって、兵庫県の川はきれいに守られています。

ひょうごアドプト

防災情報の入手

豊かな風景を生み出す川も、大雨の時には非常に危険です。平常時も洪水時も防災情報を確認しておきましょう。

兵庫県CGハザードマップ

http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp

避難所の場所や浸水想定区域・過去の浸水実績範囲などを見ることができます。

CGハザードマップ　検索

ひょうご防災ネット

https://bosai.net/

兵庫県の市町ごとにホームページのサイトがあり、緊急時に情報を入手することができます。

ひょうご防災ネット ○○　検索

○○に、住んでいる市町を入力しましょう

河川監視システム

http://hyogo.rivercam.info/index.html

河川に設置された監視カメラの映像を確認できます。大雨のときは水位を確認しましょう。

フェニックス防災システム

http://hyogo.bosaiinfo.jp/mobile/

兵庫県の気象情報を入手できます。

みんなで取り組もう!総合治水

https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/sougouchisuittedonakoto.html

県では、河川や下水道を整備する「ながす」対策に加え、校庭やため池などに雨水を一時貯留等する「ためる」対策、浸水しても被害を小さくする「そなえる」対策を組み合わせた「総合治水」に県民と共に取り組んでいます。詳しくは県ホームページから「総合治水」で検索。

増水警戒情報

河川内に親水施設を有し、急激に水位上昇が見込まれる20河川118箇所に大雨・洪水注意報／警報の発表と連動して作動する回転灯を設置し、河川利用者への注意喚起を図っています。

■ 増水警戒情報の提供河川

表六甲河川（13河川）	都賀川・住吉川・石屋川・生田川・芋川・宇治川・新湊川・石井川・天井川・妙法寺川（神戸市）・東川・夙川（西宮市）・芦屋川（芦屋市）
その他の河川（7河川）	有馬川・福田川・山田川（神戸市）・天神川（宝塚市）・天王寺川・駄六川（伊丹市）・朝霧川（明石市）

● 都賀川では、電光掲示板を設置し、さらなる注意喚起を図っています。

▲回転灯・電光掲示板設置（都賀川）

マップについての問い合わせ先：兵庫県県土整備部土木局総合治水課 TEL:078-362-9265　01上ボ3-035A1　令和2年3月 第2版発行